



筑後地区社会保障推進協議会

2020年8月7日

No.106

〒830-0012

久留米市日出町55

Tel 0942-31-0356

Fax 0942-31-0357

mail: r.chikugo@yahoo.co.jp

発行責任者 久保田 猛

書面議決方式で

第19回総会を開催

社会保障

筑後地区社会保障推進協議会（以下、社保協）は、今年の第十九回総会を新型コロナウイルス蔓延防止の観点から、書面議決の方式で開催しました。会員と団体に議案書を送付し、賛成・反対・保留いずれかの態度表明を求めました。集計の結果、賛成三一票、反対・保留〇票が事務局に寄せられ、七月三十一日の運営委員会で全議案が可決されたことを確認しました。

総会議案は、一、二〇一九年度活動のまとめ、二、同年度決算および監査報告、三、二〇二〇年度活動方針、四、同年度予算、五、役員で構成されていま

す。

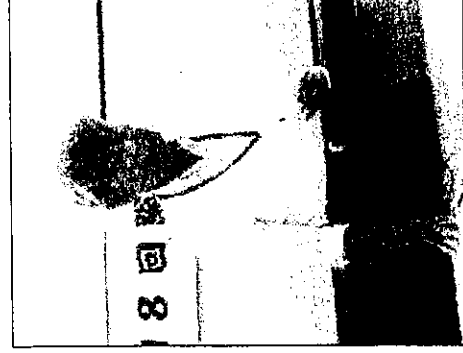
新型コロナウイルスはまだまだ広がりつづけ、収束の見通しが

すべての議題が可決される

コロナ禍のもとでも

活発な社保保障運動を

立っていません。これまで政府・自民党は医療や福祉分野の予算を削り続け。保健所数や病院ベッド数が減らされてきました。社会保障制度の充実を求める勢力はこうした政府の姿勢を強く批判してきました。新型コロナウイルスが蔓延する状況のなかで、こうした勢力の主張が正しかったことが明らかになりました。現今の状況のなかでも政府は公立・公的病院を統廃合する計画



昨年の総会であいさつする中西和也会長

今年度は政治を変えるチャンス

会長 中西和也

新年度は、コロナ禍と集中豪雨の猛威にさらされたなかでの門出になりました。どちらも自然災害です。人間の営みによる自然破壊が新たなコロナウイルスによる感染症を呼び込みました。同様に温暖化が線状降水帯を生み長時間の集中豪雨を招きました。災害が格差社会の矛盾を一挙に表面化させるな

ら、世界の「自分たちからもっと税金を取って対策を」呼びかける事態です。「リーマンショック超えの大不況」を乗り越える道は、総選挙での政権交代です。利権政治でなく福祉や地方自治を大切にする政治に変えるチャンスです。志は大きく着手は足元から、積極的に地方自治体に働きかけ要求実現を図りましょう。

今年度のとりくみ

二〇二〇年度の方針では、例年のおおりの三項を重視しています。

① 平和と社会保障を守るため、憲法九条「戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認」と二五条「生存権、国の社会的使命」の旗を高く掲げて、地域との共同を強める。戦争する国づくりに

を推し進めようとしています。

今年度の議案書は、生存権、健康権をまもり、憲法二十五条が輝く地域づくりを進めようと訴えています。

昨年度のまとめ

議案書の特徴をいくつか拾いあげてみます。

子どもの医療の面では、大木町が二〇一九年七月から、広川町が十一月から中学生までの医療費（通院費、入院費）を完全無料化しました。住民の要求でもあり、社保協が長年にわたって要望し続けた結果です。

二〇一九年十月から消費税一〇パーセントへの引き上げが行われました。社保協は福岡県各界連に結集して行動してきました。

反対する立場を明確にし、憲法九条改悪反対の運動をすすめる。

② 安倍政権は軍事費を増やす一方で社会保障制度を全面的に切りくずしている。軍事化を許さないたたかいと国民の生活、社会保障の充実を求めるたたかいは一体のものである。こうした状況を踏まえた運動を提起する。

③ 住民の生活と健康を守るべき自治体が、国の悪政に異を唱えていない。地方自治本来の姿にもどるよう運動を進める。住民の立場にたった自治体の施策に対しては賛意を表明し、応援する。

コロナ禍で生活が成り立たなくなる人が増えています。こうした人たちに最低限の生活保障を行うことは国と社会の義務です。生活保護制度はセーフティネットです。活動方針では、「生活保護は国民の権利である」との立場を明確にして運動を進めるとしています。

子どもの医療を守る運動は依然として重視していく必要があります。当面、義務教育終了までの医療費負担ゼロを目指しています。この目標をすでに大木町と広川町が達成しており、実現への弾みがついています。

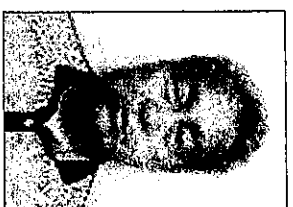


新型コロナウイルスの勢いが止まりません。社会生活、市民生活に大きな影響を与えています。今回は医療、福祉分野と学童保育分野から二人の方にインタビューしました。

コロナ禍により
医療・介護に深刻な影響

くらめ医療生協 波方 毅さん

新型コロナウイルスの拡大により、医療・介護事業にとってはかつてない危機的状況となりました。くらめ医療生協クリニック南町では発熱や風邪症状などいつもと違う症状の場合は電話で問い合わせの上、時間を別にして受診をお願いしています。来院し



新型コロナウイルスの患者を受け入れられ、状況が続きました。新型コロナウイルスの患者を受け入れられ、状況が続きました。新型コロナウイルスの患者を受け入れられ、状況が続きました。

コロナ用語四苦八苦する手話の会
三密を避けるお盆の打ち合わせ
丸条のある幸せを噛みしめる

川柳

馬場 ゆうこ

る病院は、空きベッド確保や一般診療の縮小、手術の延期で減収する一方、医師・看護師の特別配置、病棟・病室の改修などで支出は増大しています。コロナ患者を受け入れていない場合も、全国保険医団体連合会の調査では、一般患者の受診控えで四月は九〇パーセント近い医療機関が減収になりました。

療をした医療従事者が経営悪化によりポータスカットという異常事態が起きています。

を恐れ利用者の利用控えが起る一方、福祉事業所でも、感染対策により長年にわたって医療費削減を強引に進めてきた結果、大は、一面では今後私たちがどのような社会を作っていくべきか大きく問いかけています。

感染が急速に拡大した四月から五月には病床が足りず、医療崩壊が訴えられました。その時の欧米諸国に比べて感染者数は一〇分の一程度であったにもかかわらず日本では医療崩壊が発生しかけてきました。新自由主義改革により長年にわたって医療費削減を強引に進めてきた結果、大は、一面では今後私たちがどのような社会を作っていくべきか大きく問いかけています。

学童保育所では

保護者指導員ともに混乱

建交労学童保育分会 安藤由美



な保護者への連絡、行事の変更など保育以外の業務が山積みで大混乱でした。

二月末、新型コロナウイルスによる学校休校が急に決まり、学童保育所の現場では、未知のウイルスと闘いながらの保育をせざるを得ませんでした。三月は利用自粛に利用料の減免が伴わなかったの

どこでも基準以上の保育ができる体制を整えることが急務です。私たちは、未来を担う子どもたちを守るため、継続的に自治体や国に施策の充実を求めています。

久留米市が出した国民健康保険の冊子中、「国保のしくみ」について重大な誤りがありました。社保協の中西会長ほか二名は八月三日、久留米市国保課の星野課長ほか二名と懇談し、「訂正は不十分だ。被保険者にきちんと説明すべきだ」と要請しました。星野課長は「検討し、返答する」と回答しました。

久留米市の

国民健康保険課と懇談